

北東部地域協カネットワーク 第2回モデル会議報告

発行：西東京市
協働コミュニティ課
Tel.042-420-2821

令和3年11月26日（金）に田無第二庁舎にて、第1回から約11か月ぶりとなる北東部地域協カネットワークの第2回モデル会議を開催しました。会議は感染症に配慮し、オンラインと対面のハイブリットにて実施しました。

池澤市長より



市長の池澤より、コロナ禍にて、日常が失われるなかで人と人とのつながり、地域コミュニティの重要性を痛感し、この北東部地域のネットワークを立ち上げの思いが、あらためて強くなったこと。令和4年度末の設立に向けて、着実に進めていく決意についてのご挨拶を行いました。また、自身の出身地である北東部地域への思い、広い地域になるが連携を取って取り組みたい旨もお話させていただきました。

参加者の自己紹介

今回の会議には、会場には約21名の参加者、オンラインでは10名の皆さんにご参加いただきました。

これからの顔の見える関係を築くため、会場の座席はグループ形式にし、オンライン参加の方も交えて挨拶を行いました。全体の挨拶後に、各グループとオンライングループに分かれて、アイスブレイクとして地域のお気に入りの場所・お店をテーマに発表しました。地域のこととあって、皆さん地図を片手に活発な情報交換が行われました。



オンラインの参加者さんからも挨拶いただき、ました。今後とも感染状況を見ながら、安全な会議の運営に努めてまいります。

地域協カネットワークの活動紹介

地域協カネットワークは、高齢化や担い手不足、地域への帰属意識の低下など、地域が抱える問題を解決し、住み続けられるまちをつくるため、自治会や市民活動団体、公的機関や民間企業などがゆるやかに連携する仕組みであること、住民の主体的かつ自由な発想と市からの補助金を活用して、さまざまな活動を行ってきたこと紹介。

平成27年度設立した南部、平成29年度の西部、令和元年度の中部の順番で整備を進め、現在は128団体と多くの個人が参加、今回の北東部地域の設立により、全地域が完成することで、3+1が4以上の大きな効果になることを説明させていただきました。



各地域協力ネットワークの役員よりの活動紹介



南部、西部、中部の地域協力ネットワークの役員の皆さんにお越しいただき、設立の苦勞や参加のきっかけ、実際の活動の苦勞などをお話しいただきました。

南部地域ではあいさつ運動や、災害時の安否確認の黄色いハンカチ運動に取り組んでいること、MUFGパークの取組、今後、ポッチャのイベントや地域のお祭りをやっていきたいという決意が語られました。西部のにしにしnet.では、ゆるく楽しくをモットーに、愛称を決めたり、キャラクターを作ったり、自分たちが楽しむことで、周りを巻き込んでいく活動について、紹介がありました。コロナ禍にあっては、南部と共同して、こみゅらじというラジオ番組にも挑戦しています。

中部地域では、設立と同時にコロナ禍に突入してしまった苦勞やその中でも着実に取組を進め、先日、初の定例会を開催したこと、今後の活動として、地域を花で彩る事業、地域の歴史を学ぶ事業、フードドライブへの協力など、今度の活動に向けた意気込みを語っていただきました。実際に活動を行ってきた各役員の方が熱意をもって語る様子に、会場でも大きくうなずいている様子が見られました。

その熱気のまま、グループワークでは今後の北東部の可能性について議論が行われました。



これまでの地域協力ネットワークの活動の様子

グループワークでの意見

<期待すること>

- ・北東部の特徴である屋敷林や文理大公園や民俗学博物館の跡地などの地域資源を活かしては
- ・豊かな農地がある特性があるので、農を活かした取組を！
- ・学校を中心としたコミュニティや子どもの居場所、安心できる地域づくりなどをテーマにしてはどうか
- ・地域のことをもっと知りたいという人は多いのでは、情報発信もしていきたい

- ・買い物に困っている地域もある
- ・多世代交流のニーズが地域では高いのではないかと

<活動について>

- ・愛称やキャラクターなど、楽しんで取り組みたい
- ・皆さんの得意分野を活かせるような活動としたい
- ・既存の3地域とも連携しながら進めたい

<課題>

- ・範囲が広く、集まる場所が難しい。池袋線や伏見通りで分断されている問題もある。



各グループとも、楽しそうに意見を交換していたのが印象的でした。南部、西部、中部の方も一緒にグループでお話ししました。参加者の皆さんから、「既存の地域の話が直接聞けて良かった。」、「顔の見える関係になれば素敵」、「今後のイメージが少し見えた」などのご意見をいただきました。

今後のスケジュール

今後は、来年1月～3月にワークショップ形式にて、今回いただいた意見や地域の課題、地域の資源などについて掘り下げて参ります。令和4年度は、年度末の設立に向けて、準備会の立ち上げを行っていきます。なるべく多くの方にご参加いただけますよう、日程のアンケートを行っていますので、ご協力お願いいたします。また、ご参加いただける地域の方のご推薦もお待ちしております。